

Question Answer

お口の健康そこが知りたい 54

協力・鶴岡地区歯科医師会

歯周病は日和見感染症

世界中でもっとも蔓延している病気は歯周病で、細菌による感染症です。歯周病菌は若い人の健康な歯周組織からも検出されることから常在菌であると考えられ、感染していても発症しない人もいて、体の抵抗力が何らかの原因(プラーク蓄積・生活習慣等)で低下し、均衡が崩れて症状がでる「日和見感染症」です。

歯周病菌との戦い

歯周病菌に対して私たちは上皮バリアと呼ばれる壁で侵入を防ぐことや、唾液の持つ抗菌作用・免疫力で菌を攻撃することで体を守っていますが、歯周病菌は「**バイオフィーム**」を形成することで攻撃に耐えて発症の機会を狙っているのです。

※バイオフィームとは

細菌が産生する接着性・粘着性に富む菌体外重合体化合物質で囲まれた細菌の集合体

歯周病菌は酸素嫌いの吸血鬼

歯周病菌はバイオフィームとして歯根表面に付着し、宿主の免疫力に抵抗力を持つようになります。さらにバイオフィームは成熟してくると歯周ポケットの奥深く歯周病菌の生存に適した嫌気性の環境になります。**歯周病は吸血鬼と同じように血液のヘモグロビンの鉄分が不可欠な栄養なので、継続的な口腔ケアによって歯周ポケット内の出血を抑えていくことで発症しない状態を維持しましょう。**



歯周病の進行の流れ

クインテッセンス出版「ビジュアル 歯周病を科学する」より抜粋